

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

第 1 回 「にいがた市民大学」運営委員会	
開催日時	令和3年5月25日（火） 午後6時00分～午後7時30分
会場	新潟市生涯学習センター交流ホール2
出席者	委員：荒川学長、追手委員（委員長）、阿曾委員、飯村委員、角張委員、田中委員、中村委員、橋本委員、山田委員 以上9名 事務局：教育次長、生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員3名
内容	<p>1 開会</p> <p>2 教育次長挨拶</p> <p>3 学長挨拶</p> <p>4 運営委員自己紹介</p> <p>5 議題</p> <p>(1) [報告]</p> <p>①令和2年度 市民大学開設講座総括について ◎報告資料1-1～1-3に基づき、事務局から令和2年度実施講座の受講者満足度や、年代ごとのインターネット動画ライブ講義への参加希望等について報告しました。 【主な質問・要望等】 →質問や意見はありませんでした。</p> <p>②令和3年度 市民大学開設講座申込状況について ◎報告資料2に基づき、事務局から今年度の市民大学の申込状況を報告しました。 【主な質問・要望等】 ・プレ講座を受講した方が令和3年度の前期講座を受講している割合はどのくらいか。まだわからない場合は、どこかの段階でその割合を教えてください。 →受講が終わった後のアンケートで、お聞きする。</p> <p>③令和4年度 「市民提案講座」申込状況について ◎報告資料3と報告資料3(参考)に基づき、事務局から市民提案講座の申込状況を報告しました。 【主な質問・要望等】 ・報告資料3(参考)のシートは、事務局から運営委員に送られてくるのか。 →5月の第5週までに運営委員へ送るので、6月17日までに事務局にお送りいただきたい。 ・市民提案講座は案全体を採用するのか、それとも運営委員が提案した講座に取り入れる一部採用でもいいのか。 →市民提案講座の評価点数にもよるが、提案書には細かく講座内容が載っているので、内容を見てから、全体採用でも一部採用でも可能。委員からの意見を記載いただけるシートをお送りする。</p>

内 容	<p>④令和3年度 にいがた市民大学公開講演会について</p> <p>◎報告資料4に基づき、事務局から今年度のにいがた市民大学公開講演会の日時や対象などについて報告しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の方は現地に来られるのか。 <p>→今のところ来られる予定だが、状況によってはオンライン講義になる可能性もある。</p> <p>(2) [協議]</p> <p>①令和3年度 市民大学運営委員会等スケジュール（案）について</p> <p>◎協議資料1に基づき、事務局から令和3年度 市民大学運営委員会等のスケジュール（案）について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>②令和4年度 大学コンソーシアム連携講座（案）について</p> <p>◎協議資料2に基づき、事務局から令和4年度に実施する大学コンソーシアム連携講座について、幹事校から提出いただいた講座プログラムを説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座名は、案②の“工学の最先端”よりも、案①の“暮らしに役立つ”というキーワードの方が、受講者は興味を持つのではないか。 ・案①の“工学の基礎知識”という表現は固い。工学の世界が私たちの身近にあるということが分かる表現がいいのではないか。 ・案②の“わかりやすい工学の最先端”の方が気になる。AI やロボットなど、解説してくれると嬉しい。工学に少しついて行けないような人たちに今の技術について分かりやすくお話しいただくと面白いのではないか。 ・技術がどのように使われているのか具体例を挙げてもらうといいのではないか。具体的な言葉の一つ挙げて、副題に難しい言葉が付くといいのではないか。分かるものと分からないものを組み合わせてテーマをつけるとイメージがしやすいのではないか。 ・最先端のテーマを暮らしに役立つ形の講座にするのがいいのではないか。案①の講座名で案②のテーマだといいのではないか。（講座名とテーマのクロス） ・最先端を知り、暮らしに役立てるといような趣旨にし、案①と案②の折衷案がいいのではないか。 ・“炊飯器にもIoT”のようなキャッチーな名がつくと魅力的になるのではないか。 ・幹事校である新潟工科大学からしか講師が挙げられていないが、もう一つの幹事校である新潟産業大学からも講師が挙げられることはあるのか。 <p>→現段階では新潟工科大学の先生を記載してあるが、内容によっては他大学の講師を入れるというご返答を頂いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に両方の幹事校から講師を挙げないといけないのか。 <p>→事務局から、両方の幹事校から講師を挙げさせていただきたいという依頼はしていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県自体、工業が盛んなので、このテーマに絡む新潟の企業が開発しているものについての話を入れると、県民としては関心を持ちやすいのではないか。
-----	--

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹事校の力を入れて取り組んでいる研究も、どこかに入れるといいのではないか。 <p>③令和4年度以降 いがた市民大学のあり方について</p> <p>◎協議資料3-1、3-2に基づき、事務局から令和4年度以降の市民大学のあり方について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営委員が次年度の講座提案をする際に、対象まで含めて提案するのもよいと思う。 ・ 対象者を分けた講座を実施すると、マイナス面としては事務作業が煩雑になると思う。プラス面としては市民が受けたい講座を選べる。色々な世代の人たちを対象とした講座を複数行うというイメージでいいのか。 <p>→若者だけを対象にした講座は難しいとは思いつつ、若者たちが集まりそうなお提案があればお聞きしたい。大学生が提案する講座もあっていいのではないかと思う。いただいたご意見を集約し、来年度に向けて考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを対象とする講座では体を動かしたり、何かを見つけたりする、また、継続して学んだら称号をもらうといったようなことをすると、目標ができて喜ばれるのではないか。その場合、場所や材料が必要となってくる。一方、高齢者は座ってしっかり勉強したいと思うので、対象によってどのように企画するかがポイントになる。一つの年度に、年齢層が高い層と低い層、それぞれに向けた講座があってもいいのではないか。 ・ 若者で、もっと学びたいという人たちを取り込めるようなテーマが出せたらいいと思う一方、若者の中には孤立しているような人たちも非常に多い。高齢者にも様々な方がいるので、世代を分ける際、もう少し軸があってもいいのではないか。オンライン講義には、家からなかなか出られない人達に学びを提供する一つの機会となる良さや、手元がよく見えるという良さがある。学校では学習内容を考える教員と、ICTを考える教員、それぞれの人材の配置の仕方も含め、5年後10年後どういう未来を描き、そのために何をすればいいのか、考えていくといいのではないか。 ・ 講座の集客方法も大きな問題であると思う。 ・ 小中学生を対象とした市民大学というものに違和感を覚える。若者期については、新潟市内の大学生内のコミュニケーションを活性化させるという意味で、何か講座が考えられるのではないか。その場合も、大学生の引き込み方や、テーマ設定から企画づくりをサポートする体制をどうとるか、ということが課題であると思う。 ・ NPOでフリースクールみたいなものを経営されている方など、色々な方が運営委員に入られるのもいいのではないか。 ・ 若者期の講座については、例えば、大学生に講座を企画してもらい、講師として話してもらうのも考えられるのではないか。 ・ 市民大学は、縦のつながりがある点が良い。ターゲットを大まかに区切りながらも、多様な層が受講できるといいのではないか。 ・ 事務局が小中学生期や若者期を対象とした講座を企画し、運営委員が基本講座を企画するのか。 <p>→案の中ではそういう形である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みの自由研究をテーマにした講座など、クロスパルにいがたの工作室などを使うのもいいのではないか。 ・ 小中学生を対象とした講座は、親子で参加する特別教室みたいなものも考えられるのではないか。 <p>④令和4年度 前期講座プログラムの作成について(案)</p>
------------	---

	<p>◎協議資料 4 に基づき、事務局から令和 4 年度の前期講座プログラムの作成について説明しました。 【主な質問・要望等】 →質問や意見はありませんでした。</p>
	6 閉会
傍 聴 者	0 名
会 議 資 料 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 報告資料 1-1 令和 2 年度（第 26 期）にいがた市民大学開設講座受講者数 ・ 報告資料 1-2 令和 2 年度（第 26 期）にいがた市民大学特別講座アンケート結果 ・ 報告資料 1-3 令和 2 年度（第 26 期）にいがた市民大学プレ講座アンケート結果 ・ 報告資料 2 令和 3 年度（第 27 期）にいがた市民大学開設講座申込状況 ・ 報告資料 3 令和 4 年度（第 28 期）市民提案講座応募状況 令和 4 年度（第 28 期）市民提案講座 審査基準 ・ 報告資料 3（参考）令和 4 年度（第 28 期）市民提案講座 講座案評価シート ・ 報告資料 4 令和 3 年度（第 27 期）にいがた市民大学公開講演会について ・ 協議資料 1 令和 3 年度 にいがた市民大学運営委員会等スケジュール(案) ・ 協議資料 2 令和 4 年度（第 28 期）大学コンソーシアム連携講座前期講座プログラム（案） ・ 協議資料 3-1 今後のにいがた市民大学の方向性（案） ・ 協議資料 3-2 にいがた市民大学 開設講座体系（案） ・ 協議資料 4 令和 4 年度（第 28 期）前期講座プログラム様式 ・ 参考資料 にいがた市民大学について（参考） ・ 参考資料 にいがた市民大学運営委員会について（参考） ・ 参考資料 にいがた市民大学 年度別受講者数（参考）